

日本スポーツマスターズ2024

SPORTS MASTERS JAPAN 2024

大会報告書



SPORTS MASTERS JAPAN

公益財団法人 日本スポーツ協会

長 崎 県

公益財団法人 長崎県スポーツ協会



この大会は競輪の補助を受けて開催しています。

<https://jka-cycle.jp>

グラビア





BOWLING

ボウリング

BOWLING



BOWLING

SPORTS MASTERS JAPAN 2024 - NAGASAKI





その瞬間のために。

わたしたちは、そばで見えた。
その瞬間のために、続けた努力を、
流した汗も涙も。
その瞬間のために、かけた思いを、
送った言葉も。
わたしたちは、実らせたい。
その努力のために、
その思いのために、
その瞬間のために。

 **東武トップツアーズ**

東武トップツアーズは、
日本スポーツマスターズのオフィシャルスポンサーです。



REACH BEYOND

OUR SUSTAINABILITY

誰もが、いつでも、どこでも、
自由にスポーツを楽しむことができる未来のために

私たちには、できることがある
走り続けよう、持続可能な未来へ

“MIZUNO CREW 21”は、持続可能な社会を
次世代につなぐ、私たちの“誓い”です



MIZUNO CREW 21



SCAN & DISCOVER

jpn.mizuno.com 0120-320-799



NEXT VOLTAGE

スポーツの未来を盛り上げる。



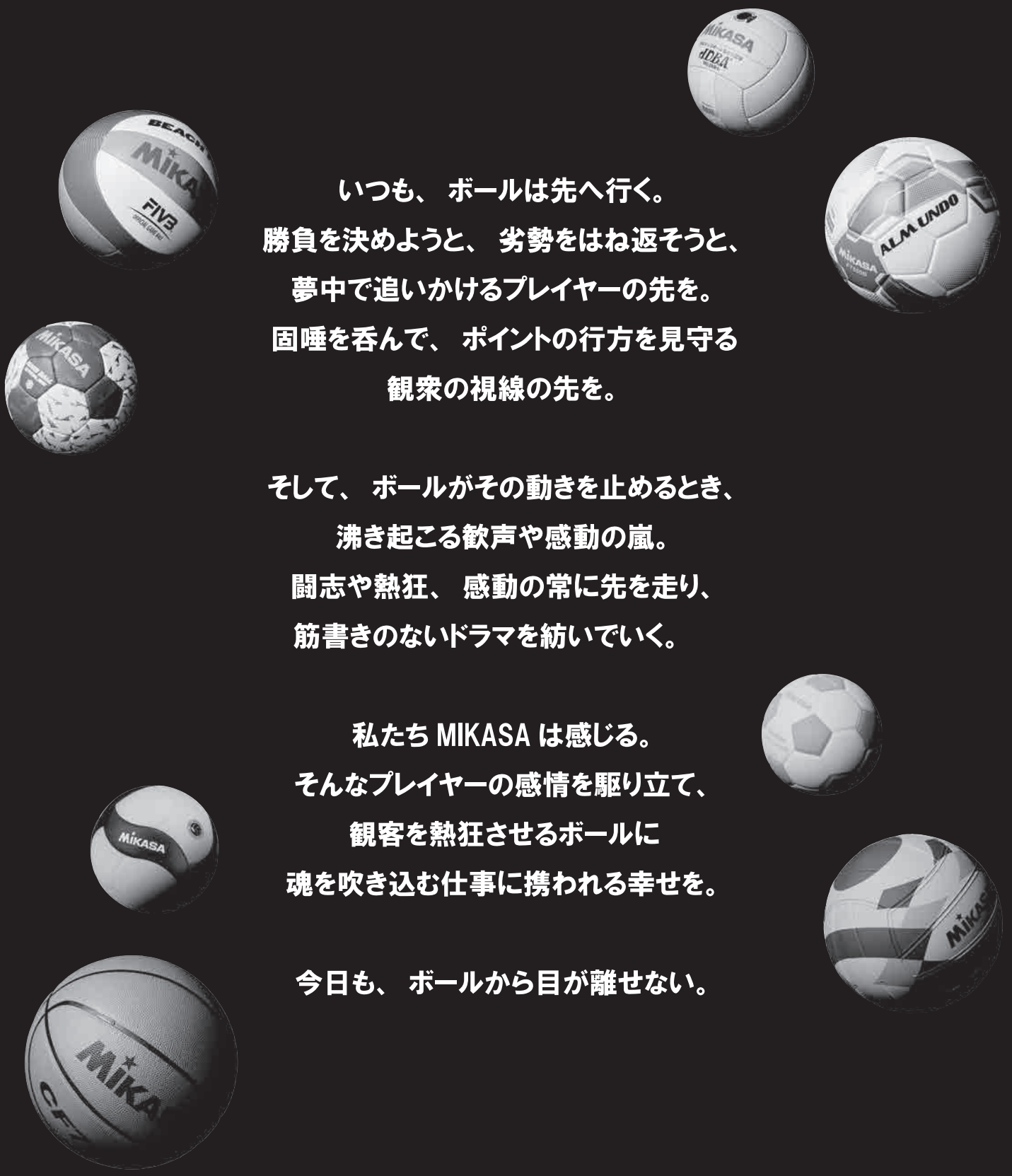
白石 黄良々 (セレスポ陸上部)

イベント・ソリューション・パートナー

セレスポ

私たちは、全てのスポーツを応援しています。

www.cerespo.co.jp/



いつも、ボールは先へ行く。
勝負を決めようと、劣勢をはね返そうと、
夢中で追いかけるプレイヤーの先を。
固唾を吞んで、ポイントの行方を見守る
観衆の視線の先を。

そして、ボールがその動きを止めるとき、
沸き起こる歓声や感動の嵐。
闘志や熱狂、感動の常に先を走り、
筋書きのないドラマを紡いでいく。

私たち MIKASA は感じる。
そんなプレイヤーの感情を駆り立て、
観客を熱狂させるボールに
魂を吹き込む仕事に携われる幸せを。

今日も、ボールから目が離せない。


MIKASA
Faster than Emotion

ある日、母が、
私がこどもの頃の話をしてくれた。
よく泣いたこと。
よく転んだこと。
CO・OPのミックスキャロットが
好きだったこと。

やがて、私も
母親になった。
私は迷わず、
CO・OPを選んだ。



“もっと イキイキ ひと まち 暮らし”

 **生活協同組合 ララコープ。**

〒851-2121

長崎県西彼杵郡長与町岡郷 1474 番地





挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

OFFICIAL PARTNERS

 **asics**

 **Otsuka 大塚製薬**

 **mizuno**

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ

 **ニチバン**

日本文化出版

TOPPAN
TOPPANクロレ株式会社

時事通信

THE SUPER SPORTS
KEEIO Group

 **日本郵政**

OFFICIAL SUPPLIERS

 **JAL**


キャラバンジャパン

DESCENTE

日本体育施設

PRTIMES

 **MIKASA**

 **東武トップツアーズ**

JTB


京都電子工業

Photo Create 

 **名鉄観光**

KEIRIN



地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、
ものづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、
社会に役立つ活動を応援しています。

<https://jka-cycle.jp>

大会を 振り返って



SPORTS MASTERS JAPAN

ボウリング



大会の事前準備について

日本スポーツマスターズ2024は長崎県での開催が決まり、ボウリング競技はパラダイスボウルでの大会実施に向け事前準備を進めた。はじめに、加盟都道府県ボウリング連盟にポスターを配布し大会開催の事前告知及び啓発活動を行った。

また、長崎県ボウリング連盟の役員及び審判員等に対し、2024年8月にJAPANBOWLINGから役員を派遣して研修会を行い、スポーツマスターズの位置付け、参加者の傾向や特徴、競技内容、日韓スポーツ交流に関する説明を行った。大会会場となるパラダイスボウルにも本大会の趣旨及び運営についてご理解いただき、協力的かつ積極的に事前準備を進めていただいた。

今大会においても韓国選手団を日韓スポーツ交流として迎えることとなり、これまでの経験を活かし、韓国選手団の接遇及び控え室の配置等万全な体制を整えお迎えすることができるよう、事前準備を進めた。

大会期間中の競技運営状況

長崎県ボウリング連盟、パラダイスボウルには事前準備に続き、大会期間中も積極的かつ協力的に活動していたため、運営等が滞ることなく競技を進めることができた。9月28日(土)パラダイスボウルにおいてボウリング競技開始式を行った後、韓国選手団とのペナントの交換や記念品贈呈を行った。また、同日には韓国選手団団長が視察応援にお越しいただいた。9月30日(月)には日本スポーツ協会坂元副会長が視察応援にお越しいただいた。来年度開催地である愛媛県からも視察団が来場し、競技の運営や諸施設等を視察されていた。

韓国選手団に対しては、派遣いただいた韓国語通訳者とともに、中間表彰や表彰式・閉会式の打合せをし、式典でも韓国語通訳を入れるなど、韓国選手団への配慮を共に検討し実施することができた。

反省点

大会の事前準備、期間中の競技運営ともに、長崎県ボウリング連盟やパラダイスボウルの方々と綿密に連絡を取ることができたため、人員の確保や業務分担等申し分なく無事に大会を終了することができた。また、日本選手団と韓国選手団との交流も、年々親密になり、今大会においても十分に図ることができ、充実した日韓スポーツ交流となった。特に大きな反省点は見当たらないが、旧名称全日本ボウリング協会から新名称JAPANBOWLINGとなった最初の大会でもあったため、場内掲示物の一部が旧名称で表示されていた。場内掲示物等を担当していたコーユレンティアの担当者が現地に常駐していただいていたため修正して張り替えることができたが、事前確認が必要であると感じた。また、開催地にもよるが近年の気候変動による気温上昇のため、屋外に設置している選手控え所の設置場所や扇風機の設置等今後検討していかないとならない。

次回（愛媛）大会への課題

次回の愛媛大会ボウリング競技会を開催する愛媛県ボウリング連盟は「愛顔つなぐえひめ国体」での運営実績もあり、開催予定地であるキスケKITも競技会開催の運営実績もあるため、特に大きな課題は見当たらないが、役員及び審判員等の人員の確保、宿泊施設の確保、輸送をはじめ、運営についても愛媛県ボウリング連盟の全面的支援体制を敷けるよう、事前準備を十分に行って臨みたい。

また、日韓スポーツ交流も、これまでの経験を踏まえ、万全な体制で韓国選手団を迎えられるよう、主管運営の役員及び審判員、開催予定会場の係員等を集め、研修会を開催し、諸準備を進めていきたい。

報告者：公益財団法人 JAPANBOWLING
専務理事兼事務局長 齋藤 良太郎

競技要項



ボウリング



B O W L I N G

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 長崎県 公益財団法人長崎県スポーツ協会
公益財団法人 JAPAN BOWLING 佐世保市

2. 主 管 長崎県ボウリング連盟

3. 期 日 令和6（2024）年9月28日(土)から30日(月)まで（3日間）

種 別	9月28日(土)	9月29日(日)	9月30日(月)
男 子	開 始 式	4人チーム戦	個人選手権者
女 子	2人チーム戦	〈前・後半戦〉	決定戦
	〈前・後半戦〉		〈前・後半戦〉

4. 会 場 パラダイスボウル（公競No142-048号）〒859-3226 佐世保市崎岡町853-12

5. 参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計
男 子	1名	4名	30チーム	150名	318名
女 子	1名	4名	30チーム	150名	
韓国男子	1名	4名	2チーム	9名	
韓国女子	1名	4名	2チーム	9名	

6. 競技方式

競技方式は、デュアルレーン方式（アメリカ方式）により実施する。

7. 競技上の規程及び方法

(1)競技規程

JAPAN BOWLING 制定のボウリング競技規則並びに選手権競技会規程による。

(2)同位の裁定

各種目において同位が生じた場合、ボウリング競技規則第133条に基づき裁定する。

ただし、選手権者決定戦において1位と2位が同点の場合は9・10フレームの決定戦により順位を決定する。

(3)競技方法

①男・女とも、2人チーム戦（前半3ゲーム・後半3ゲーム 計6ゲーム）、4人チーム戦（前半3ゲーム・後半3ゲーム 計6ゲーム）の競技を行い、2人チーム戦（チーム12ゲーム）、4人チーム戦（チーム24ゲーム）のそれぞれの合計得点により順位を決定する。

②個人選手権者決定戦は、2人チーム戦（6ゲーム）、4人チーム戦（6ゲーム）の合計12ゲームの個人成績上位者男・女とも24名を選出し、前半（3ゲーム）、後半（3ゲーム）、計6ゲームの競技を行い、その

合計得点により男・女の選手権者及び順位を決定する。

8. 参加資格

- (1)2024年度 JAPAN BOWLING 登録会員（個人正会員、実業団会員）で、下記に該当する者。
- (2)日本在住者で、令和 6（2024）年 4 月 1 日現在で満45歳以上の者。
- (3)所属する都道府県に在住または在勤の者。
- (4)令和 6（2024）年開催の第78回国民スポーツ大会ボウリング競技会（JAPAN BOWLING が定める場合を除き、都道府県大会、ブロック大会を除く）に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2024ボウリング競技会に選手として参加することはできない。
- (5)各チームの監督は、選手を兼ねることができるが、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ボウリングコーチ 1・2・3・4 のいずれかの資格を有する者に限る。

9. チームの選出方法

- (1)都道府県の代表選手の選出は、各都道府県ボウリング連盟が参加資格を確認して、男女各 1 チームを選考する。
- (2)ブロック予選会区分及び代表チーム数

ブロック名	都 道 府 県 名	男子	女子	合計
北 海 道	北海道	1	1	2
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3	6
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	5	10
北 信 越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	3	6
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	3	3	6
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	4	8
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	3	6
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2	2	4
九 州	福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5	5	10
開 催 地	長崎	1	1	2
韓 国		2	2	4
計		32	32	64

注①原則として、ブロック大会に登録（予備登録を含む）、出場した者でなければ、本大会への参加は認められない。

- ②ブロックの予選会としてどの大会を指定するかは、各地区ボウリング連合で内定の上で、JAPAN BOWLING と協議し決定する。
- ③ブロック予選開催の都道府県ボウリング連盟は、その結果を JAPAN BOWLING に報告しなければならない。

10. 表 彰

- (1)チーム戦及び個人戦の第 1 位から第 3 位までの者に、記念品を授与する（チーム戦については、チーム構成員全員に授与する）。

- (2)チーム戦及び個人戦の第1位から第8位までの者に、賞状を授与する（チーム戦については、チーム名とチーム構成員全員の氏名を記載したものをチーム構成員全員に授与する）。

11. 参加料

1人12,400円（監督専任者を含む）

*内訳は、競技参加料（8,000円）＋施設負担金（4,400円）。

*納入後の参加料は返金しない。

*地震・風水害・感染症の流行等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

12. 参加申込方法

- (1)参加申込書は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県ボウリング連盟に申込む。
- (2)参加申込書は、参加都道府県ボウリング連盟が所定の様式により3部作成し、令和6（2024）年7月12日（金）必着にて、1部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2部をJAPAN BOWLINGに送付する。なお、参加料は参加都道府県ボウリング連盟が取りまとめて、参加申込と同時にJAPAN BOWLINGへ納入する。
- (3)参加申込後に選手等を交代する場合には、所定の選手変更届を上記(1)、(2)の参加申込と同様の要領にて届けなければならない。

13. 参加上の注意

- (1)大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、2個目から1個につき500円の登録料を納入するものとし、5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。また、ボールの追加登録は原則として認めない。
- (2)競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は、速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- (3)未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円とし大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- (4)大会に使用するボールの持ち込みは、4個以内に自粛すること。
- (5)会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
- (6)参加選手は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (7)事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (8)大会参加選手の大会期間中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加選手各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (9)参加選手は、健康保険証を持参すること。
- (10)緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (11)薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）を必ず携帯すること。
- (12)本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報（氏名・年齢・性別・記録・肖像等）は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載権・使用権は主催者に属する。
- (13)本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報（肖像を含む）およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。

14. 宿泊・交通申込について

JAPAN BOWLING は、日本スポーツ協会から配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県ボウリング連盟に送付し、都道府県ボウリング連盟は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社に提出する。

15. その他

(1) 組合せ抽選会

日 時／令和 6（2024）年 8 月 1 日(木) 13：00～

会 場／公益財団法人 JAPAN BOWLING 事務所会議室

〒160-0013 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 5 階

(2) 監督会議

日 時／令和 6（2024）年 9 月 27 日(金) 13：00～13：30

会 場／佐世保市広田地区コミュニティセンター

(3) 本部宿舎

ザ・パラダイスガーデンサセボ

記録



ボウリング



B O W L I N G

期日：2024年9月27日～30日

会場：パラダイスボウル

参加：男子128名（32チーム）

女子111名（28チーム） 計239名

＜男子2人チーム戦＞

順位	得点	都道府県	選手名	選手名
第1位	2,707	愛知 B	山内 博之	日比 正裕
第2位	2,627	東京 A	石田 隆	荒 真一
第3位	2,564	福岡 A	岸川 正次	大賀 保文
第4位	2,523	徳島 A	坂本 政武	神下 克己
第5位	2,502	鹿児島 A	坂口 喜善	小濱 竜一
第6位	2,491	千葉 A	谷川 有司	増田 一義
第7位	2,487	大韓民国 A	KIM HONGJU	YU SEONG YUN
第8位	2,486	石川 A	渡邊 元造	清水 正弘

＜男子4人チーム戦＞

順位	得点	都道府県	選手名	選手名
第1位	5,220	大韓民国 A	KIM HONGJU	YU SEONG YUN
			LEE JANG HAK	CHOE HYEON SIK
第2位	5,022	滋賀	藤田 忠志	浦部 年男
			島本 昭宏	竹崎 寿征
第3位	4,958	愛知	日比 正裕	山内 博之
			松岡 富綱	林 伸治
第4位	4,943	岩手	佐々木和夫	菊池 英明
			藤原 孝至	菊池 史和
第5位	4,910	愛媛	西森 安正	重松 啓三
			柴田 論	今井 学
第6位	4,886	静岡	深澤 智秀	北風 慎雄
			高尾 正樹	萩原 祥古
第7位	4,865	北海道	滝本 宗彦	本田 充論
			小林 豊	似内 和彦
第8位	4,861	岡山	有本 武志	仁木 隆
			人見 勲	佐古 浩

＜男子選手権者決定戦＞

順位	得点	都道府県	選手名
第1位	1,343	(兵庫)	石橋 一陸
第2位	1,325	(愛知)	日比 正裕
第3位	1,324	(長崎)	服部 良成
第4位	1,302	(大韓民国)	CHOE HYEON SIK
第5位	1,296	(埼玉)	浦川 毅
第6位	1,295	(滋賀)	竹崎 寿征
第7位	1,273	(福岡)	大賀 保文
第8位	1,269	(福岡)	宮本 信吾

＜女子2人チーム戦＞

順位	得点	都道府県	選手名	選手名
第1位	2,468	福岡 A	渡邊 美和	小鶴 景子
第2位	2,372	群馬 A	剣持 京子	森田 里子
第3位	2,270	大韓民国 A	KANG YOUN OK	LEE MYEONGSUK
第4位	2,261	福岡 B	円城寺真由美	梶原 教子
第5位	2,257	鹿児島 A	宮里 直美	坂口 カナ
第6位	2,256	兵庫 A	中上佐代子	山田みゆき
第7位	2,244	大分 B	馬場 初美	木村 正子
第8位	2,233	東京 B	熊本 美穂	駒場よし子

＜女子4人チーム戦＞

順位	得点	都道府県	選手名	選手名
第1位	4,627	福岡 B	谷口久美子	吉野 龍子
			小金丸聡美	富永 和恵
第2位	4,455	群馬	剣持 京子	黒澤 久美
			森田 里子	園部 恵理
第3位	4,445	福岡 C	古賀みゆき	西 文子
			水流そのみ	佐藤真由美
第4位	4,437	和歌山	松村 佳美	川口 尚美
			高市しずか	山崎 明美
第5位	4,419	兵庫	中上佐代子	山田みゆき
			久米 充代	芦田かおり
第6位	4,393	石川	高野由紀子	中村 邦子
			岡 里美	川畑 智子
第7位	4,367	京都	奥 亨子	池田真由美
			田中 市子	佐野 弘子
第8位	4,360	愛媛	西山 京子	木村 千代
			久保富貴恵	若木香代子

＜女子選手権者決定戦＞

順位	得点	都道府県	選手名
第1位	1,313	(愛媛)	若木香代子
第2位	1,255	(福岡)	富永 和恵
第3位	1,255	(京都)	田中 市子
第4位	1,230	(群馬)	森田 里子
第5位	1,216	(兵庫)	中上佐代子
第6位	1,210	(福岡)	小鶴 景子
第7位	1,189	(福島)	影山明日美
第8位	1,184	(東京)	熊本 美穂